施策評価シート（ 令和4　年度の振り返り、総括）

作成日	令和5 年　06月　20日

施策 No.	19	施策名	観光の振興
主管課名	商工観光課	電話番号	0285-83-8135
関係課名	秘書広報課、農政課、文化課		

1. 計画（Plan）

施策の対象	市内に訪れる観光客						
対象指標名	単位	令和2 年度実績	令和3 年度実績	令和4 年度実績	令和5 年度実績	令和6 年度実績	令和6 年度見込
本市観光入込数	人	1,784,577	1,579,223	1,952,912			3,050,000

施策の目標	本市の魅力が十分発信され、市外から多くの人々が訪れ、賑わいと活力であふれている。
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法（算定式など）	観光客入込数は、県調査によるデータ（毎年1月～12月の集計）。 撮影に関する問合せ件数は、もおかフィルムコミッションへの問合せ。

成果指標名		単位	平成30年度基準値	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和6 年度目標値
本市観光客入込数	目標値	人	2,960,527	2,970,000	2,990,000	3,010,000	3,030,000	3,050,000	3,050,000
	実績値			1,784,577	1,579,223	1,952,912			
撮影に関する問い合わせ件数	目標値	件	44	46	47	48	49	50	50
	実績値			46	65	50			
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	市民は、担い手として観光まちづくりの活動を推進する。 行政は、観光まちづくりの担い手である市民の育成と、その活動を支援する。県や近隣市町と情報交換等連携を図り、広域的な観光の振興に努める。メディアを有効的に活用し、知名度向上に努める。

2. 実行（Do）→個別事務事業の実施による（事務事業マネジメントシート参照）

3. 検証・評価と今後の方向性（Check&Action）

（１）施策目標達成に対する要因分析と課題（①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証）

・令和4年の本市観光客入込数は、目標3,010,000人に対し、1,952,912人であった。これまで平成28年から平成30年にかけては290万人を越えて推移し、令和元年は3,177,751人になったものの、令和2年度は1,784,577人、令和3年は1,579,223人と大幅に減少しており、これは新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施している夏祭り・花火大会、灯ろう流し、桜祭り、大産業祭など集客の多いイベントのほとんどが中止となったことや、緊急事態宣言に伴う不要不急の外出自粛が影響し、多くの観光施設では来館者が大幅に減少したことが要因である。

令和4年度も同様にコロナ禍の影響は未だ残っているが外出の自粛が緩和され、真岡の夏祭りは規模を縮小して開催され、灯ろう流しは例年どおり実施されるなど徐々にイベントが再開されてきたことから入込数は前年比で23.6%増加しているものの、コロナ禍前の状況には至っていない。

・広域的な観光の振興として東京圏への情報発信イベントも再開され、R5年1月に東京ソラマチで県の「いちご王国栃木の日」のイベントスペースや、2月には上野駅構内で「栃木県産直市」のブースにおいて、本市も参加して真岡の特産品販売を通した宣伝活動を行なった。また、芳賀郡内の観光ネットワークを推進する芳賀地区観光推進協議会では令和5年3月から5月にかけてQRコード型スタンプラリーを実施した。

・フィルムコミッションへ撮影に関する令和4年度の問合せについては、目標48件に対して50件の問合せがあり、前年度65件から減少はしたものの目標値を達成していることは、コロナ禍の中にあっても、ロケによる撮影が少しずつ回復している中で都心から近い地域が選択されていることや、金鈴荘、久保講堂、久保記念館、鬼怒川河川敷など中心に撮影地として一定の関心と認知がされているものと考えられる。

（２）今後の方向性（（１）の要因分析を踏まえ、施策目標達成に向けた方針を示す）

・令和5年度は多くのイベントが再開することが見込まれるため、引き続き市ホームページや市公式LINEなどＳＮＳで、本市の観光情報やイベント情報をタイムリーかつ積極的に情報発信をおこなうとともに、令和5年度は最新の情報へ更新した新たな観光案内パンフレットを作成することで、いちご、井頭リゾート、SL、もおか木綿、文化財など本市の観光情報のＰＲを強化し、交流人口の増加につなげていく。

・さらに芳賀地域市町で構成する芳賀地区観光推進協議会など広域的な連携を図りながら、県外イベントへの参加やそれぞれの市町が持つ観光資源を活かした周遊型の観光を推進する。

・フィルムコミッションは、市内で行なわれる撮影がスムーズに行なわれるよう支援し、メディアを通じて多くの方に真岡市の魅力を知ってもらいイメージアップを目指すものである。具体的の活動は以下のとおり。

1）撮影の問合せに対しロケ地の紹介・ロケハン案内をするほかエキストラ募集や施設利用の交渉に協力し、実際の撮影時に立会って撮影を支援する。
2）ロケ候補地の情報収集。
3）撮影場所のPRとしてロケ地マップの作成・更新。
4）撮影地の紹介を通して真岡市をPRする。

商工観光課ではフィルムコミッション事務局の市観光協会と迅速に情報を共有し、市の公共施設や公民館など地域施設の使用可否について確認や交渉を担い、早期に制作会社へ回答をできるようにする。ロケハン案内や撮影にも観光協会とともに同行し、撮影後に広報することが可能となった時期がくれば、フィルムコミッションのホームページや市ホームページで作品名や撮影場所を掲載する。
このように映画・テレビ・ＣＭなどに利用できるロケーション撮影を積極的に支援し、新たに撮影したロケ地を積極的にＰＲすることで、本市の魅力発信やイメージアップを推進し交流人口の増加につなげるとともに、シビックプライドの醸成を図っていく。

4. 構成事業一覧（個別事務事業一覧）

NO	総重、総新 戦拡、戦新	事務事業名	担当	成果指標			評価結果
				成果指標名	単位	令和4 年度実績	今後の方向性
1	総重	フィルムコミッション推進事業	商工観光課観光係	問合せ件数	件	50	事業のやり方改善
				ロケハン案件	件	11	事業のやり方改善
				市内撮影件数	件	7	事業のやり方改善
2		真岡木綿会館管理運営事業	商工観光課観光係	木綿会館来館者数	人	12,543	現状維持
				木綿製品販売額（観光物産館販売分）	千円	3,624	現状維持
3		観光協会支援事業	商工観光課観光係	主催及び支援したイベント事業	件	10	現状維持
				真岡市を訪れた観光客	人	1,952,912	現状維持
4		夏祭り支援事業	商工観光課観光係	祭り参加者及び見物者数	人	4,300	現状維持
				真岡市を訪れた観光客	人	1,952,912	現状維持
5		久保記念観光文化交流館管理運営事業	商工観光課観光係	久保記念館来館者数	人	5,431	現状維持
				美術品展示館来館者数	人	11,654	現状維持
				観光物産館来館者数	人	24,188	現状維持
6		SLの走るまち拠点施設運営事業	商工観光課観光係	来館者数	人	149,255	現状維持
				周年イベント来場者	人	0	現状維持
				観光客入込数	人	1,952,512	現状維持